

「近江八幡市低炭素まちづくり計画」策定に係る意見公募の結果の公表
(別紙)

ご意見の概要	ご意見に対する考え方
業務用太陽光発電システムに対し、償却資産税の非課税を検討してはどうか。	太陽光発電事業助成については、国の固定価格買取制度（F I T）の中で事業性を考慮した買取価格の設定がされていますので、本市として、現段階では考えておりません。
農産物の地産地消を進め、輸送時に発生する二酸化炭素を少なくする。 そのために、 ・農産物の地産地消が進むような作付けを検討してはどうか。 ・市内チェーンストアで実施されているインショップを他店でも実施して、生産コストの有効利用による燃料等の有効利用を推進してはどうか。	本計画は、都市計画の観点からそれに関わる民生部門、運輸部門の各施策を対象としていますので、農業政策（産業部門）に関わる事は記述しておりません。 なお、商品等の輸送に関する二酸化炭素排出は、運輸部門に関係しますので、交通の低炭素化の中で記述しています。
太陽熱温水器について、小型高性能化して、風呂のお湯が安く沸かせるよう、メーカーや大学等と研究してはどうか。	ご意見を踏まえ、計画に反映します。太陽光発電と併せて、熱需要がある施設においては太陽熱パネルの設置も有効と考えます。
大中には、牛が約7,000頭いると聞いた。牛は、反芻でゲップし、体重の23%のメタンガスを出すとのこと。メタンガスは、二酸化炭素の21～72倍の温室効果があるといわれている。詳しく調査してほしい。	本計画は、都市計画の観点からそれに関わる民生部門、運輸部門の各施策を対象としていますので、牛のゲップ対策については記述しておりません。
ガス回収バイオ発電など活用策も施策に盛り込んでもらいたい。	ご意見を踏まえ、計画に反映します。バイオマス発電については、市内に新設する一般廃棄物処理施設における発電が該当する見通しです。その他のバイオマス活用については、事業性を考慮しつつ進めていくことが考えられます。
脱車社会に向け、 ・あかこんバスをJ Rとリンクさせて運用すればよいのでは。 ・また、近江八幡駅と日牟礼神社循環バス	ご意見を踏まえ、計画に反映します。あかこんバスは、今回の低炭素まちづくり計画の主要な施策に位置づけています。

は、駐車場も含め電気トロリバスにはしてはどうか。	
潜在熱源活用のヒートポンプに関心をよせています。	ご意見を踏まえ、計画に反映します。面的エネルギー利用を図る集約地域等においては、地下水や河川水等の潜在熱源活用のヒートポンプ導入なども有効な施策と考えています。